

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 1 教科・領域 生活 単元・題材等 昔の遊び

単元・題材等の目標 お年寄りから教えてもらうなどして昔の遊びを調べ、昔からの遊びにはいろいろなものがあることに気付き、発表したり楽しく遊んだりする。

○活用できる学校外の人材と内容等

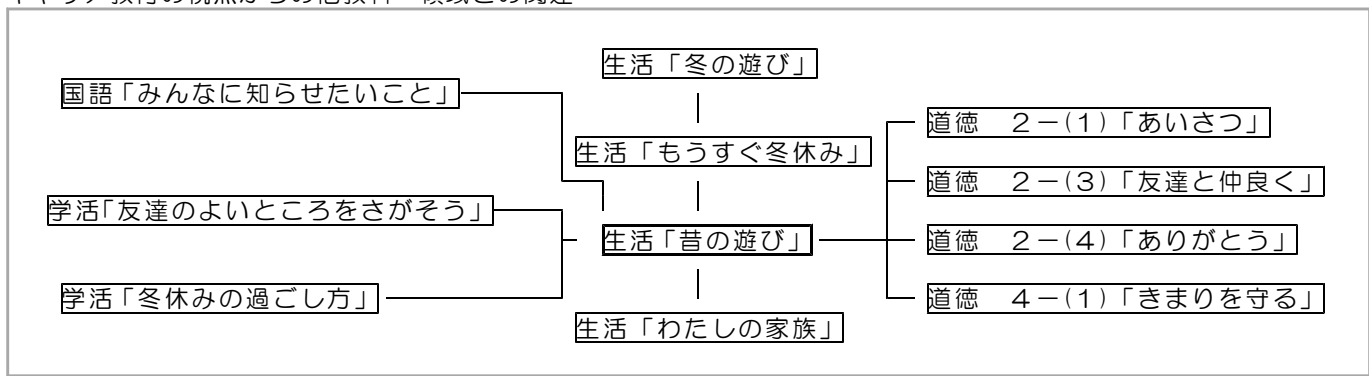
祖父母や地域のお年寄り
*来校してもらい、昔の遊びや昔から伝わる遊びのやり方や技のコツなどを教えてもらう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

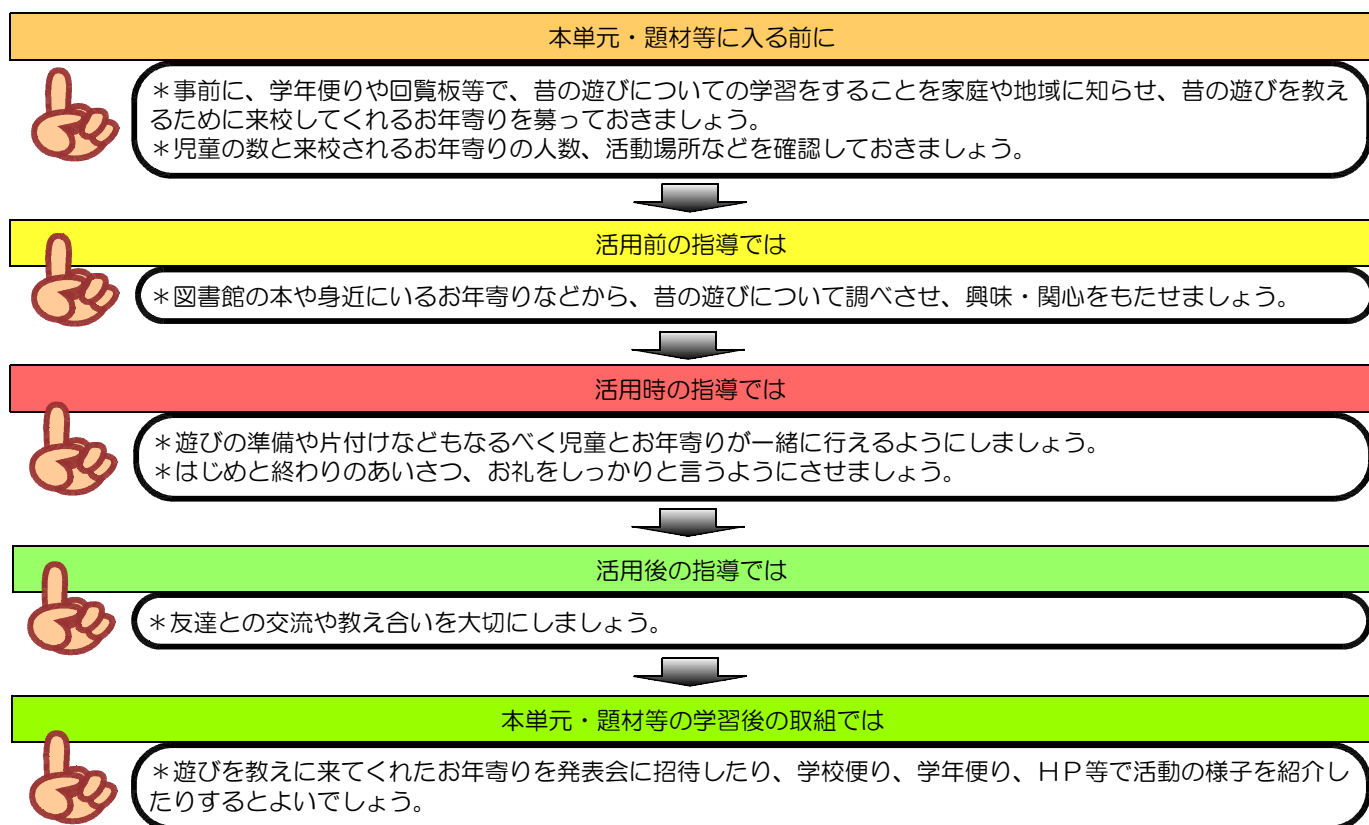
*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・友達と仲良く昔の遊びを行い、教え合う。【**自他の理解能力**】
- ・昔の遊びを覚えてくれた人に感謝する。【**自他の理解能力**】
- ・昔の遊びを覚えてくれた人にあいさつや返事をし、感想やお礼を言う。【**コミュニケーション能力**】
- ・昔の遊びの発表で、やり方や感想をみんなの前で話す。【**コミュニケーション能力**】
- ・昔の遊びの準備や片付けをする。【**計画実行能力**】
- ・遊びの時間やルールを守ろうとする。【**計画実行能力**】
- ・自分でやりたいと思う昔の遊びを選び、教えてもらったり、練習したりする。【**選択能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導	
①昔の遊びについて調べよう ◆図書館にある本や身近にいるお年寄りなどから、昔からある遊びにはどのようなものがあるか調べる。	
学習活動	指導上の配慮事項
●昔からの遊びについて調べる。	○正月に遊んだ経験や祖父母などから聞いた話なども思い起こさせる。
●調べたことや身近なお年寄りから聞いてきたことを紹介し合う。	○実際に遊んだ経験のある児童に、その感想などを発表させるとその後の意欲付けにつながる。
●次時の昔の遊びを覚えてもらう活動について知る。	○教えてもらう際の注意事項やマナーなどについて事前指導しておく。

評価の観点
・昔からの遊びについて意欲的に調べ、紹介している。
・次時の活動について知り、遊びを覚えてもらう際のマナーや注意事項が分かる。

活用時の指導	
②遊び方を知り練習しよう ◆来校してくれたお年寄りなどから、昔からある遊びのやり方を教わり練習する。	
学習活動	指導上の配慮事項
●はじめのあいさつをする。 【 コミュニケーション能力 】 「こんにちは。今日は、よろしくお願いします。」	○来校された人の紹介をし、あいさつをさせる。
●活動場所に分かれ、昔の遊びを教わる。 【 自他の理解能力 】 【 計画実行能力 】 【 コミュニケーション能力 】 【 選択能力 】 「ありがとうございました。次は、あの遊びをしてみよう。」	○準備や片付けなども一緒に行うようにさせる。 ○教えてくれたことに対し、しっかりとお礼を言うように声掛けをする。 ○練習しながら、技のコツや遊び方の工夫なども考えさせる。 ○なるべく多くの遊びに取り組み、やってみるように声掛けをする。
●感想を発表し、終わりのあいさつをする。 【 コミュニケーション能力 】 「今日は、いろいろな遊びができて楽しかったです。ありがとうございました。」	○本時の感想を発表させ、お礼のあいさつをさせる。

評価の観点
・はじめと終わりのあいさつ、お礼などがしっかりとできる。
・遊びの約束を守り、片付けがしっかりとできる。
・自分のやりたい遊びについて、意欲的に教わり、練習している。

活用後の指導	
③発表会をして楽しく遊ぼう ◆昔からの遊びを友達に発表したり、教え合いをしたりして、みんなで楽しく遊ぶ。	
学習活動	指導上の配慮事項
●昔からの遊びの発表会を行う。 【 コミュニケーション能力 】 「一緒に発表しようよ。」 「みんな上手にできているね。」	○個人やグループで発表し、感想を発表させる。 ○上手にできたことや協力して発表できたことを賞賛する。 「教えてもらったコツがよく分かりましたね。」
●昔からの遊びを教え合う。 【 自他の理解能力 】 「こんな遊びもできるようになったよ。わたしも、あの遊びを友達に教えてあげよう。」	○お年寄りから教えてもらったことを思い出させ、遊びのコツなどを伝えられるように声掛けをする。 「今日の活動の様子を学校便りに載せましょう。学校のHPでも紹介しましょう。」

評価の観点
・発表会で、やり方や感想が発表できる。
・遊びの教え合いで、仲良く教えることができる。